

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
文学				井口 和起	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2単位	1年次	講義	無	科目等履修・聴講
授業の概要(Course Description)					
<p>「君死にたまふこと勿れ」(詩)の作者、与謝野晶子の文学作品を素材に作家の生きざまと文学について考えていきます。彼女は人名辞典などでは、歌人、作家、思想家などと解説されたとおり、まず女流歌人として登場しますが、詩や童話や小説、それに数多くの評論を書いています。ですから文学のさまざまなジャンルに接することができます。また、彼女は明治・大正・昭和(戦前期)を生き抜き、戦争について、女性の生き方について、教育についてなど、時代の大きな課題に立ち向かっています。授業では、彼女の作品(歌、詩、評論、旅行記など)を時代の変化をたどりながら読み進め、彼女が「時代」をどのようにとらえ、真摯に生き抜こうとしたか、その生きざまを作品をとおして考察し、彼女にとって、文学の営みはどんな意味を持っていたのかを考えてみたいと思います。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<p>多様なジャンルの文学作品を理解でき、鑑賞する能力を高める。そのうえで、各作品の意味を時代の中に位置づけて理解でき、最終的には文学作品をその作家の生きざまの中でとらえ、視野を広げて他の作家の作品についても関心を向け、文学に親しみ、深く理解する能力を高めることを目指します。</p>					
授業計画(Course Schedule)					
第1回	ガイダンス：与謝野晶子の生涯と作品から多様な文学のジャンルを考えます。				
第2回	最初の歌集『みだれ髪』—浪漫派女流歌人の登場—				
第3回	日露戦争と「君死にたまふこと勿れ」(詩)				
第4回	「ひらきぶみ」—「歌」にかけた魂—				
第5回	『青鞥』と「そぞろごと」(詩)—山の動く日来る—				
第6回	「戦争」(詩)—第一次世界大戦と晶子—				
第7回	「駄獣の群れ」(詩)—晶子の国家観—				
第8回	「何故の出兵か」(評論)—米騒動とシベリア出兵—				
第9回	「平塚・山川・山田三女史に答ふ」(評論)—「母性保護論争」の意味—				
第10回	「文化学院の創立に就て」—晶子の教育観—				
第11回	「…我等は陛下の赤子…」(詩：無題)—晶子の天皇観—				
第12回	鉄幹との共著『満蒙遊記』—1920年代後半の中国観—				
第13回	「紅顔の死」(詩)—「第一次上海事変」に際して—				
第14回	「…わが四郎み軍に往く猛く戦へ」(歌)—太平洋戦争の勃発と病床の晶子—				
第15回	まとめ—「自我」と時代と文学と—				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<ul style="list-style-type: none"> ・授業で毎回指定する予習課題を学習しておくこと。 ・「青空文庫」で読むことが可能な作品も多いので、指定したものを事前に読んでおくことが望ましい。 ・授業では毎回出席カードに授業に関する疑問・感想などを書いて提出してもらいます。 ・作品の音読もしてもらいます。 					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
授業中の音読への参加 (20%) 毎回提出カード記載内容 (20%) 最終レポート (60%)	秀：晶子の適切な作品を読み解き、時代の中に位置づけ、彼女の生きざまと関連させて優れた論評を行なえる。 優：晶子の代表作を取り上げて、彼女の文学的な営みの意義を説明できる。 良：晶子の代表作を取り上げて優れた感想文を書ける。 可：授業で取りあげた作品を読み、感想を文章表現できる。
テキスト (Textbook)	【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】 特になし。授業時に資料配布。
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	入江春行『与謝野晶子とその時代』（新日本出版社、2003年） 赤塚行雄『決定版 与謝野晶子研究』（学芸書林、1994年） 香内信子『与謝野晶子-昭和期を中心に-』（ドメス出版、1993年）
備考 (Other Information)	
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	一覧表参照。